

2004年9月8日

報道関係各位

株式会社 構造計画研究所
〒164-0011 東京都中野区中央 4-5-3
www.sbd.jp

構造計画研究所 熱流体解析ソフト EFD シリーズの New バージョン 5.0 をリリース開始

株式会社 構造計画研究所（本社：東京都中野区、資本金 10 億 1,020 万円、社長：服部正太）は、設計者用熱流体解析ソフトウェア「EFD.V5」および「EFD.Lab」の最新バージョンを9月8日より国内およびアジアパシフィック地域で販売開始する。

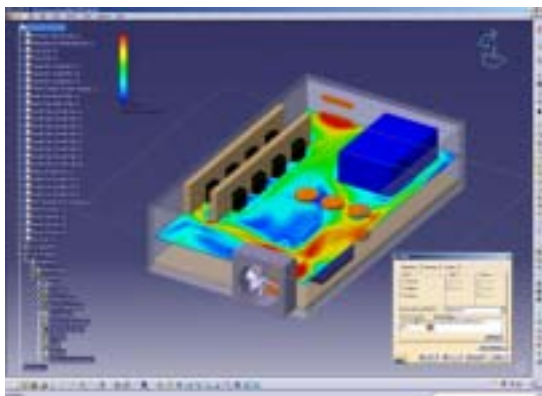
「EFD.V5」は、ハイエンド3次元CAD「CATIA V5」にアドインされた設計者向けの熱流体解析ソフトウェアで、CATIAの中で全ての操作が行えるため、CADの操作をしながらシームレスに解析モデルの作成からシミュレーションおよび結果表示までが行える。「EFD.Lab」は3次元CAD機能を搭載し、CADに依存しないスタンドアロン型の熱流体解析ソフトで、「EFD.V5」と同様の機能を持つ。両者とも3次元CAD「SolidWorks」のアドインソフトとして国内で広く使われている「COSMOSFloWorks（旧 FloWorks）」と同じ開発元、「Nika GmbH」社の製品であり、3製品全てほぼ同様の機能を持つ。

ただし、今後の開発予定では、「EFD.V5」、「EFD.Lab」を上位機種として開発し、設計者から解析の専門家まで幅広いユーザーに対して適用できるソフトウェアを目指す。具体的には、混相流の解析、回転体モデルの解析などが開発プランとして上がっている。

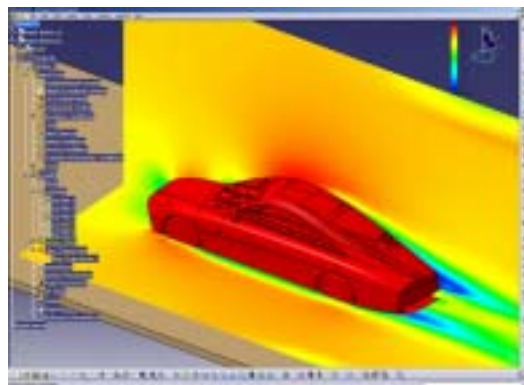
最新バージョン「EFD.Lab バージョン 5.0」及び「EFD.V5 バージョン 5.0」の最大の特徴は、セパレートソルバー機能が追加されたことである。セパレートソルバー機能により解析モデルの作成と計算の実行を別のマシンでおこなうことができる。これにより、計算中に3次元CADを解放することができ、ソルバーの実行中にCATIAV5もしくはEFD.LabのCAD部分を使用して、別のモデルの作成や解析の設定がおこなえる。また、計算をCADから独立して行うことで、解析に使用できる最大メモリも増加する。セパレートソルバー機能はEFD.V5もしくはEFD.Labのネットワーク版のみで可能。



この他にも最新バージョンでは、時間依存の日射解析、ふく射透過物体の解析、粒子追跡計算などの機能が追加されている。また、ポスト機能に関しても3次元立体コンター表示、体積パラメーターの計算、アニメーション機能などポスト処理が向上し、新しい適用範囲を提案すると共に、設計者にとってさらに使いやすいツールとなった。



EFD.V5による電子機器部品の熱流体解析



EFD.V5による自動車まわりの気流解析

主な新機能

【解析機能】

- ・ ぶく射を透過する固体の解析
- ・ 時間依存の日射解析
- ・ 粒子の磨耗および付着質量の計算
- ・ 流れが発達した管路の計算

【パフォーマンスの向上】

- ・ 計算の収束性向上（精度向上）
- ・ 結果表示の速度向上

【操作性の改良】

- ・ セパレートソルバー機能
- ・ プロジェクト間の解析条件のコピー機能
- ・ 座標系の自動定義
- ・ 計算メッシュデータの抽出
- ・ 3次元コンター表示
- ・ 流体の過度表示
- ・ 結果のプレビュー表示機能

販売価格

EFD.Lab	¥2,980,000～	EFD.Lab 年間保守	¥ 596,000～
EFD.V5	¥3,600,000～	EFD.V5 年間保守	¥ 720,000～

構造計画研究所について

1959年創立。現在、ネットワーク、マルチメディア、情報通信、移動体通信分野から建設、製造分野に至るまでの広範かつ最新のIT技術を駆使したソフトウェア開発ならびにソフトウェアプロダクトを提供。さらにOR・シミュレーション手法を用いた工学・製造分野におけるコンサルティングサービスやマーケティング分野におけるコンサルティングサービスも行っています。また建設・環境分野における数値解析コンサルティングサービスや建築・構造設計分野でも強みを発揮しており、様々な業界に対し、多様なソリューションを提供しています。

この件に関するお問い合わせは下記へお願い致します。

株式会社構造計画研究所 SBD営業部
マーケティング担当
川村榮子

TEL 03-5342-1051

FAX 03-5342-1055

e-mail eiko@kke.co.jp

〒164-0011
住所 東京都中野区中央4-5-3

構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。